



〒010-0521 男鹿市船川港  
南平沢字上大畑台 30  
男鹿市立男鹿南中学校  
TEL 0185-23-3241  
FAX 0185-24-4947  
第213号

## 地域住民と「合同防災教室」行われる！(11/27)

### “助けられる人”から“助ける人へ”・・・判断と行動がカギ

校長 栗 森 貢

師走を迎え、今年も残すところ1か月となりました。学校では、「後期達成テスト」を24日に終え、実力を出し切った生徒たちは概ね満足した結果を残しました。3年生は三者面談を終え、志望校を絞り込んだり、自分の進路の方向性を固めたりと進路の自己実現のために自分との戦いに挑戦する時期となりました。さて、11月27日(月)の午後、本校において南中学区の町内の方々に参加を呼びかけ「合同防災教室」を開催しました。

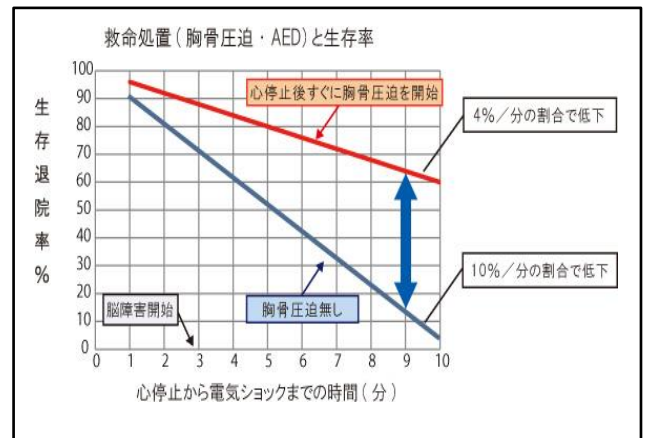
◎目的：自然災害発生時において、生徒が自他の生命を守るための安全で的確な行動をとることができ、本校が避難所となることを想定した体験型合同防災教室を行う。

◎内容：1 避難経路の確認、2 地域の方と合流・誘導、3 避難所設営(受付と避難者名簿の作成)、4 煙体験・初期消火活動と《共助》学習会(AEDの使い方・簡易担架の作り方)、5 講話(消防署員・市防災課職員)

【防災教室の成果】

- 1 生徒が地域の方々と関わりながら体験活動やAEDの使い方を学んだところ。(昨年度できなかった)
- 2 体験活動や講話を通して、災害が起きた時に、冷静に状況を判断し、どのように行動するかが大事であることを学んだところ。
- 3 自分が助かることはもちろん大事だが、周りを見て「少しでも役に立つことをしようとする意識」が芽生えたところ。
- 4 AEDや心肺蘇生法を身に付けておくことは、必ず役に立つことがあることを学んだところ。
- 5 「災害への備えは、常にしておかなければならないこと」そして、「必ず生かせることがあること」を学んだところ。

◎地域の方の参加は、天候のせいであまり少なかったですが、コミュニティースクールの観点からも、「地域防災に対する関心を高め、知識や理解を深め、どのように取り組んでいくか？また、いかに犠牲者を少なくしていくか？」ということに、学校が核となり地域と結束して取り組んでいきたいと思っております。



☆心停止後すぐにAEDを使用し胸骨圧迫をした場合、胸骨圧迫をしなかった場合と比較して生存率が2倍以上向上する。

## “南中創立25周年記念” 佐藤壽先生の版画で「手ぬぐい」と 「クリアファイル」作成！

本校の美術の非常勤講師の佐藤壽先生が、南中の校舎図を版画で作成し、「創立25周年記念になれば幸いです。」と、原画をいただきました。三浦教頭とどのように活用するかを話し合い、12月2日の記念祝賀会で校訓の「自彊不息」を入れて「手ぬぐい」を作成し配布することにしました。また生徒には、同じようなレイアウトで表に校訓、裏に校舎図を入れた「クリアファイル」を作って配布することに決めました。どんな出来映えになるかわかりませんが、佐藤先生のご配慮に感謝しつつ、思い出の一つとさせていただきます。ありがとうございました。

